

## S-444D **RS** 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

### はじめに

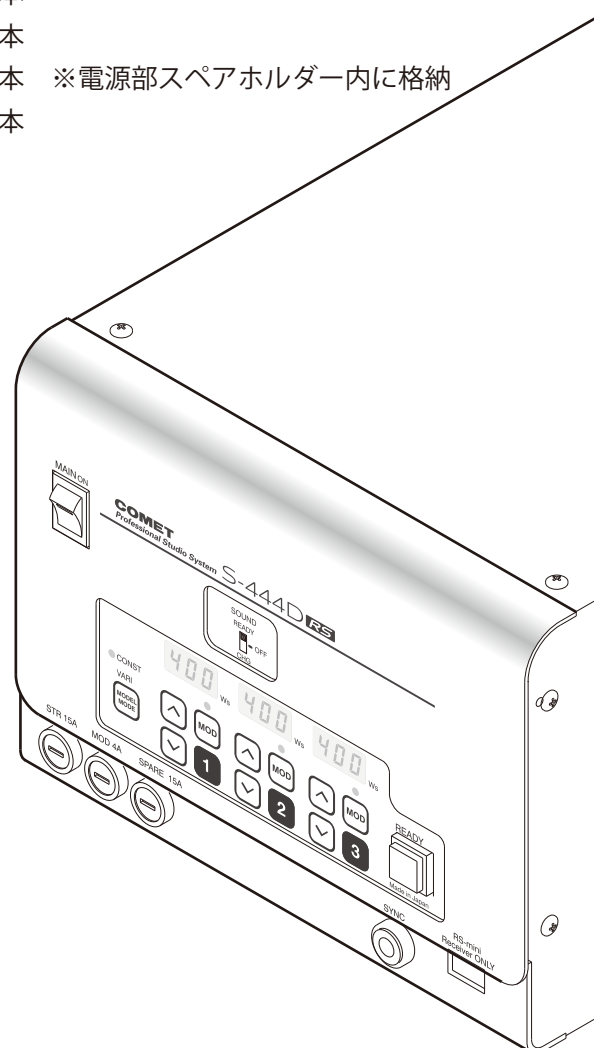
このたびは、コメット S-444D-RS 電源部をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
本機は3回路セパレート出力で、各出力を FULL (400Ws) から 1/64 (6Ws) までの6絞りを 1/6EV ステップで調光することができます。  
RS ミニレシーバー (別売) を接続することで、RS- 発信器 (別売) との無線シンクロ撮影が可能です。  
なお、ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご活用ください。

### 付属品

● ACコード 3.5m 黒 (インレット)	1本	
● アースコード 80cm	1本	
● シンクロコード (ピンジャックタイプ) 80cm	1本	
● ヒューズ ストロボ用 15A	1本	※電源部スペアホルダー内に格納
● ヒューズ モデリング用 4A	1本	
● 取扱説明書 (本書)	1	
● 保証書 (3年間)	1	

### 目次

1. 安全のため特にご注意ください	1~3
2. 使用上のご注意とお願い	3
3. 各部の名称とはたらき	4~5
4. 操作手順	6~7
5. 出力バリエーター	7
6. モデリングランプ	7
7. サウンドモード	8
8. シンクロ接続	8
9. 不発光警報	9
10. 過熱警報	9
11. ヒューズ交換	9
12. 保証とアフターサービス	10
13. 仕様	11



# 1. 安全のため特にご注意ください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意喚起です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

## 絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

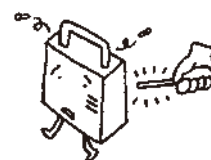
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



## 危険・警告



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。  
電源部は、メインスイッチを切り AC コードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。  
また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。  
十分注意をしてください。



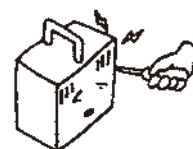
- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。  
漏電による感電の恐れがあります。



- 電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。  
電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



- 電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。  
感電、ショートによる発火の恐れがあります。



## 危険・警告



- 感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて行ってください。

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。

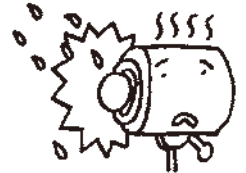


- 使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。

水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。

取扱いには十分注意をしてください。



- ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクタに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。



- ヘッドは発光時、高温の熱を発生します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



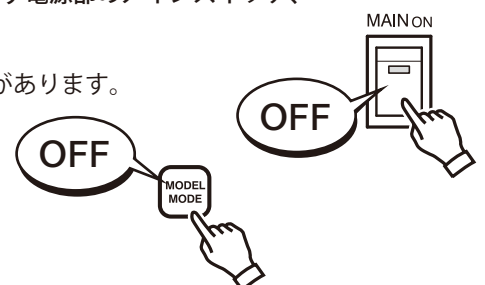
- 使用電圧は AC100V (50/60Hz) です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。



- ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプモードスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。



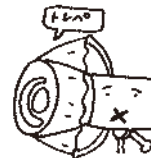
## 注意



- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。火傷の恐れがあります。



- ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



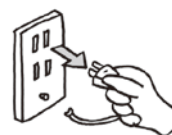
- ヒューズやモデリングランプは弊社指定の定格品を使用してください。定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



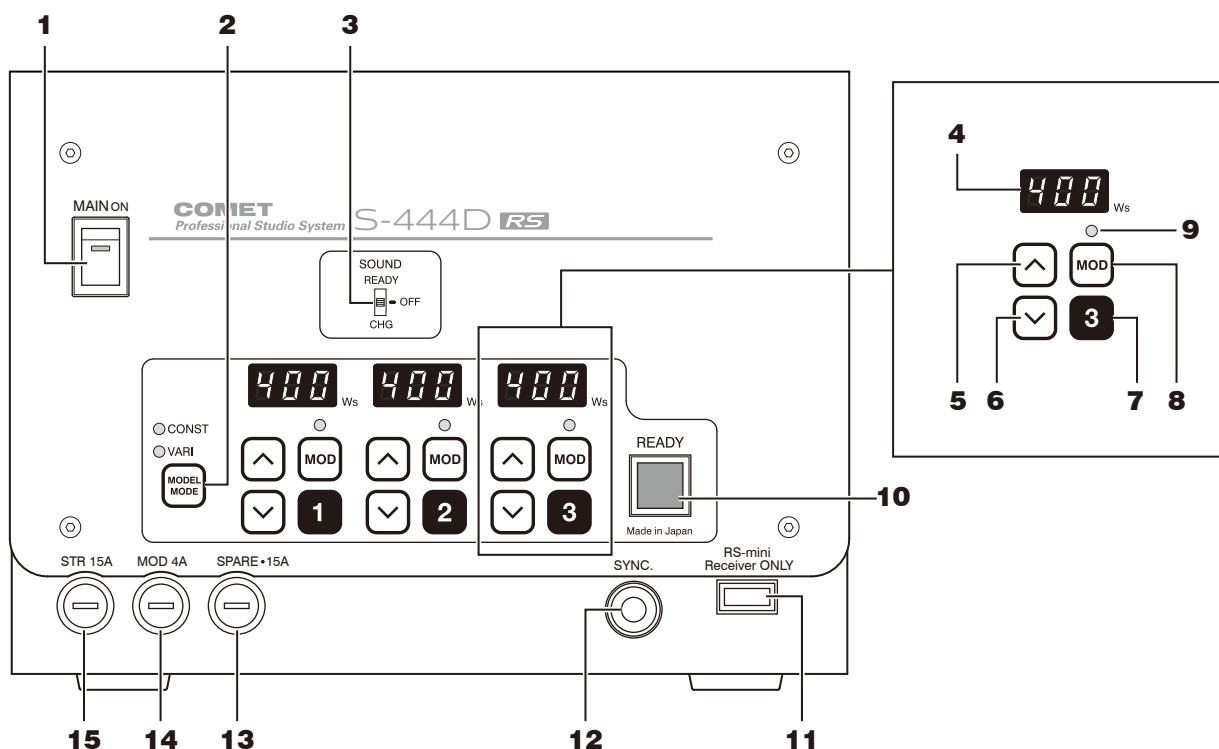
- 使用後は安全のために必ず AC コードをコンセントから抜き取るか、ブレーカーなどを OFF にしてください。発火、火災の恐れがあります。



## 2. 使用上のご注意とお願い

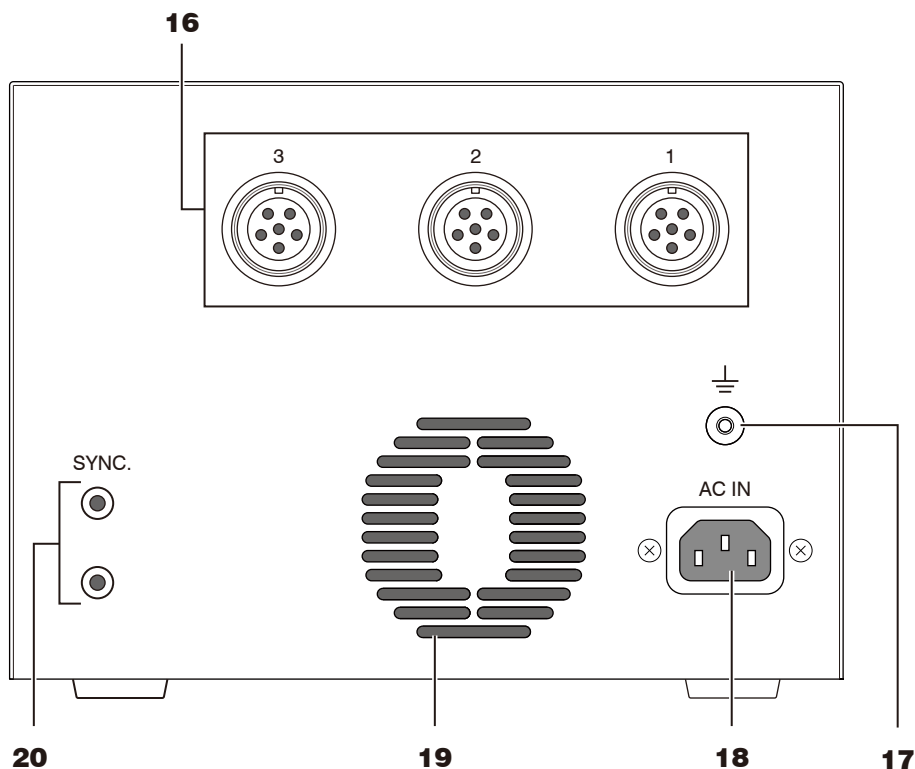
- 本機の定格入力電圧は AC100V ± 10% (50 / 60Hz) です。定格電圧以外での使用は故障の原因となります。
- 調光機に接続しての使用はしないでください。本機および調光機を破損する恐れがあります。
- 本機で CX-12 バイチューブヘッドやレクト 126 ヘッドの使用はしないでください。電源部やヘッドを壊す恐れがあります。
- ストロボ電源部は使用しないときでも 1 ヶ月に 1 ~ 2 度は必ず出力を FULL にして通電をしてください。
- 3 ヶ月以上 (10 ヶ月未満) の長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は、出力を FULL にして最低 4 時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。
- 10 ヶ月以上の長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は通電せずに弊社クリニック課による点検 (有料) を受けてください。長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は、通電または発光をくり返すとコンデンサーが発熱し、発火、火災の恐れがあります。
- 赤外線シンクロ装置 (当社製) の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。
- 赤外線シンクロ装置 (当社製) を使用する場合は、使用する各々の電源部に受信器をセットし、フォトセル搭載機種は、必ずフォトセルスイッチを「OFF」にしてください。赤外シンクロ受信器を使用していてもスイッチが「ON」のとき、同調発光しない電源部が出ることがあります。

### 3. 各部の名称とはたらき



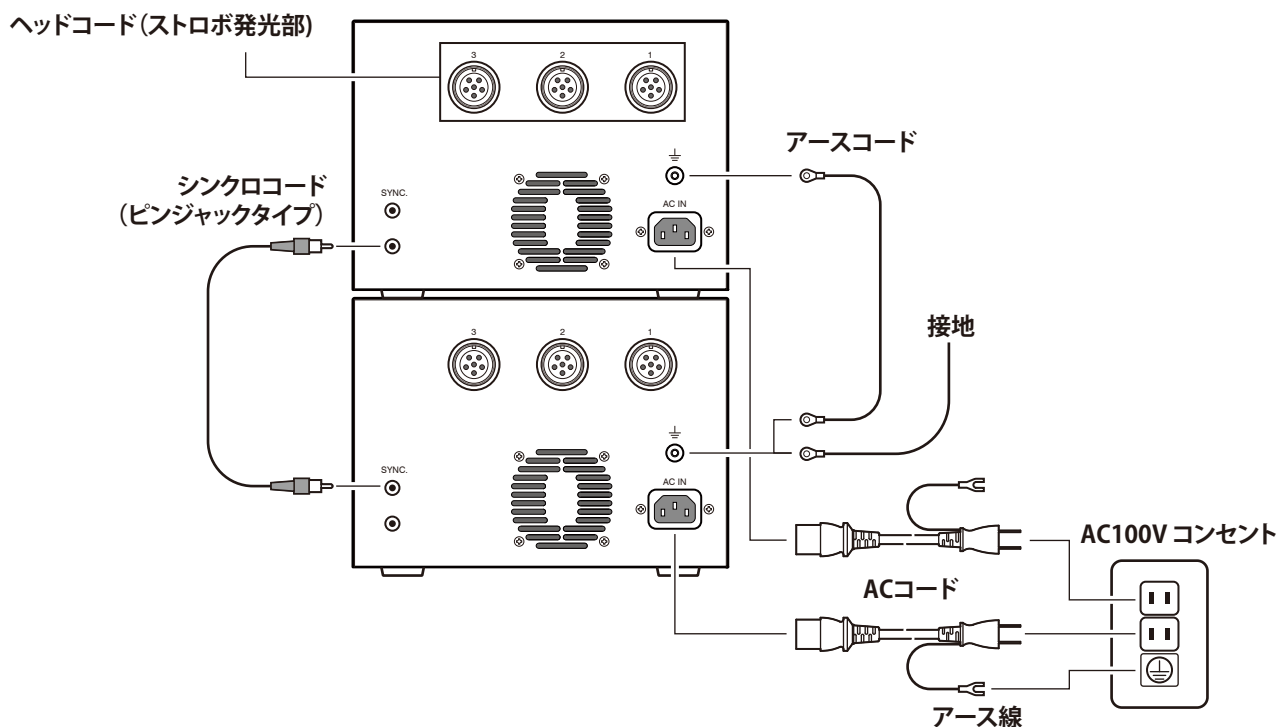
<b>1</b>	<b>メインスイッチ (MAIN)</b>	AC 電源スイッチです。 パイロットランプは「ON」のとき点灯し、過熱警報作動時に点滅します。
<b>2</b>	<b>モデリングランプモードスイッチ (MODEL MODE)</b>	モデリングランプを「100% 点灯 (CONST)」「調光 (VARI)」または「OFF」にします。
<b>3</b>	<b>サウンドモードスイッチ (SOUND)</b>	サウンドモードを「充電完了音 (READY)」「充電中音 (CHG)」「OFF」にします。ただし、モードに関係なく警報音は鳴ります。
<b>4</b>	<b>出力表示 (Ws)</b>	各出力をデジタル表示します。不発光が生じたとき該当出力が点滅します。
<b>5</b>	<b>出力パリエーター UP (∧)</b>	ストロボ出力を 1/6EV ずつ UP します。 長押しで 1.0EV ずつ UP します。
<b>6</b>	<b>出力パリエーター DOWN (∨)</b>	ストロボ出力を 1/6EV ずつ DOWN します。 長押しで 1.0EV ずつ DOWN します。
<b>7</b>	<b>各灯スイッチ (1～3)</b>	各灯の出力を「ON」または「OFF」にします。 「ON」にすると出力表示に出力が表示され発光可能となります。
<b>8</b>	<b>各灯モデリングランプスイッチ (MOD)</b>	各灯のモデリングランプを「ON」または「OFF」にします。「ON」にするとパイロットランプが点灯し、該当する発光部のモデリングランプが点灯します。 ただし、モデリングランプモードスイッチ (MODEL MODE) の設定が優先されます。
<b>9</b>	<b>パイロットランプ</b>	各灯モデリングランプスイッチを「ON」にすると点灯します。
<b>10</b>	<b>レディーランプ / テスト発光スイッチ (READY)</b>	充電が完了すると点灯します。 テスト発光をするときはランプ部を軽く押してください。
<b>11</b>	<b>RS ミニレシーバー接続コネクター</b>	RS ミニレシーバー (別売) を接続します。 RS ミニレシーバー以外の接続は絶対にしないでください。
<b>12</b>	<b>シンクロソケット (SYNC.)</b>	ホーンジャックタイプ CR- シンクロコード (別売) でカメラと接続します。
<b>13</b>	<b>スペアヒューズ (SPARE・15A)</b>	スペアのストロボヒューズ (15A) が収納されています。
<b>14</b>	<b>モデリングランプヒューズ (MOD 4A)</b>	モデリング回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。
<b>15</b>	<b>ストロボヒューズ (STR 15A)</b>	ストロボ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。

### 3. 各部の名称とはたらき



<b>16</b>	出力コネクター (1・2・3)	ヘッドを接続します。 着脱時はメインスイッチを「OFF」にしてください。
<b>17</b>	接地端子 (⏏)	感電防止のため、必ず接地端子または AC コードのアース線を接地してください。
<b>18</b>	AC コネクター (AC IN)	AC コード (付属品) で電源部と AC コンセントを接続します。
<b>19</b>	吸気口	内部回路の冷却用ファンの吸気口です。ふさがないでください。
<b>20</b>	シンクロ端子 (SYNC.)	付属のシンクロコード (ピンジャックタイプ) で電源部間、またシンクロ信号を外部に取り出すときに使用します。

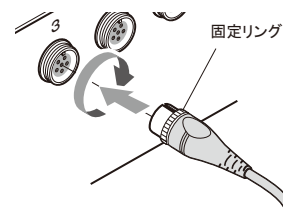
#### ■リヤパネル接続図 (電源部2台を設置した場合)



## 4. 操作手順

### ■ 1. ストロボ発光部を電源部に接続します

使用するストロボ発光部のヘッドコネクターを電源部の出力コネクターに十分に差し込み、固定リングで確実に固定します。

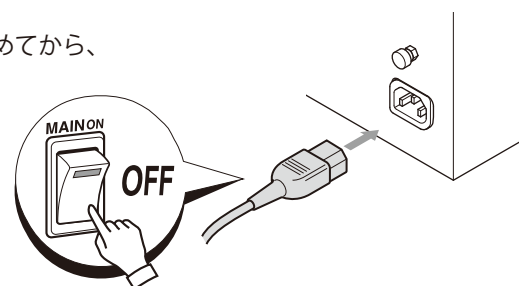


### ● 複数台の電源部を使用する場合、それぞれの電源部リヤパネル面のシンクロ端子を付属のシンクロコード（ピンジャックタイプ）で接続してください。

☞ 詳細は5ページ リヤパネル接続図をご参照ください。

### ■ 2. ACコードを接続します

電源部のメインスイッチ（MAIN）が「OFF」になっていることを確かめてから、ACコードを電源部のACコネクターに十分に差し込んでください。そのあと、ACコンセントへ差し込みます。



### ● 必ずアースの接続をしてご使用ください。

☞ 詳細は5ページ リヤパネル接続図をご参照ください。

### ■ 3. 充電サウンドを選択します

サウンドモードスイッチ（SOUND）で充電状態を知らせるサウンドを選択します。

☞ 詳細は8ページ 7. サウンドモードをご参照ください。

### ● サウンドモードに関係なく警報音は鳴ります。



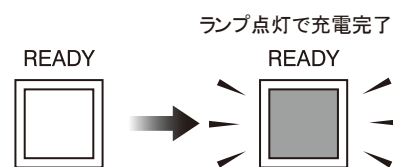
### ■ 4. メインスイッチ（MAIN）を「ON」にします

メインスイッチ（MAIN）を「ON」にします。ACパイロットランプが点灯して、充電が始まります。



### ■ 5. 充電の完了

充電が完了すると、レディーランプ（テスト発光スイッチ兼用）が点灯し、発光準備が完了します。

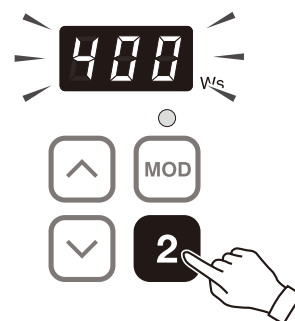


### ■ 6. 使用する発光部を選択します

各灯スイッチ1～3を押して、使用する発光部を選択します。「ON」にするとストロボ出力（Ws）が表示され発光可能となります。「OFF」にすると消灯します。

☞ 詳細は7ページ 5. 出力バリエーターをご参照ください。

### ● ストロボ発光部が接続されていない各灯スイッチは必ず、「OFF」にしてください。「ON」のまま発光動作をおこなうと不発光警報が作動します。



### ■ 7. モデリングランプモードを選択します

モデリングランプモードスイッチ（MODEL MODE）でモデリングランプの点灯モードを選択します。

☞ 詳細は7ページ 6. モデリングランプをご参照ください。



## ■ 8. テスト発光をします

テスト発光スイッチ (READY) を軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。



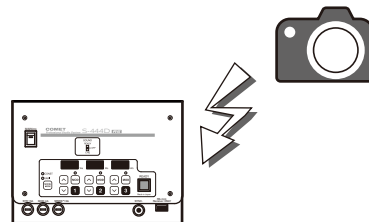
## ■ 9. カメラとのシンクロを確認します

CR-シンクロコード (別売)、または無線シンクロ装置 (別売) でカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

☞ 詳細は 8 ページ 8. シンクロ接続をご参照ください。

### 【お願い】

- 本番撮影をされる前にシンクロ (同調) テストをされることをお勧めします。
- カメラのシャッタースピードは 1/60 秒以下に設定してください。  
※カメラ機種によっては同調するシャッタースピードが異なります。
- 後幕シンクロ撮影には対応していません。



## 5. 出力バリエーター

出力バリエーターを押すごとに、各出力を FULL (400Ws) から 1/64 (6Ws) まで 1/6EV ステップで調光します。

- 出力バリエーター長押しで 1EV ステップ調光になります。

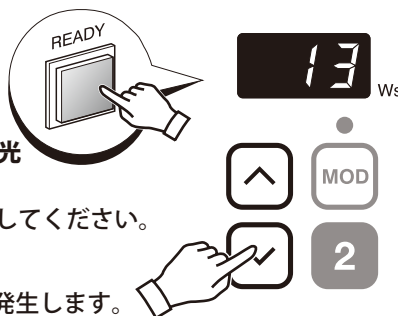
### 【お願い】

本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力を下げた場合は、カラ発光をしてください。

### 【ご注意】

出力バリエーターを 1/32 (13Ws) 以下に下げた場合、本機性能により光量ばらつきが発生します。

出力を下げたら  
カラ発光



## 6. モデリングランプ

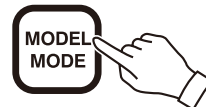
### ■ モデリングランプモードスイッチ

モデリングランプの点灯モードを 3 つのモードから選択します。

- CONST モデリングランプは常に 100% の明るさで点灯します。
- VARI モデリングランプはストロボ出力 400Ws のとき 100% の明るさとして、各ストロボ出力に連動して、ストロボ出力 1/16 (25Ws) の明るさまで調光します。1/16 以下は一定の明るさで点灯します。
- OFF モデリングランプを一括で消灯します。  
このとき、各灯モデリングランプスイッチを操作してもモデリングランプは点灯しません。

○ CONST

● VARI



### ■ 各灯モデリングランプスイッチ

各ストロボ発光部ごとにモデリングランプを ON/OFF します。

点灯にするとパイロットランプが点灯して、該当するストロボ発光部のモデリングランプが点灯します。

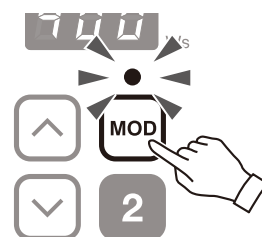
### ● クーリングファン内蔵ストロボ発光部 (S-4H・S-5H・S-6H 発光部) の動作について

- ・ モデリングランプを OFF (消灯) にすると発光部のクーリングファンも停止します。
- ・ モデリングランプモードを VARI (出力連動調光) に設定すると、モデリングランプの明るさに連動してクーリングファンの回転速度が変わります。

### 【お願い】

ストロボ発光部のモデリングランプ定格は総合計 400W までです。

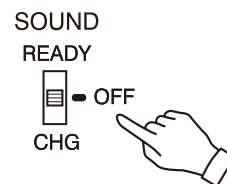
定格以上ご使用になると、本機のモデリングヒューズ断線の原因となります。



## 7. サウンドモード

サウンドモードスイッチ (SOUND) で充電状態を知らせるサウンドを選択します。

- **READY** 充電が完了したとき、ブザー音が鳴ります。
- **CHG** 充電中ブザー (断続音) が鳴り、完了すると止まります。
- **OFF** 消音。モード表示は消灯します。



- サウンドモードに関係なく警報音は鳴ります。

## 8. シンク口接続

カメラと電源部をシンク口接続します。カメラからのシンク口入力下記の方法があります。

- 複数台の電源部を使用する場合、それぞれの電源部リヤパネル面のシンク口端子を付属のシンク口コード (ピンジャックタイプ) でジャンパー接続します。

これにより、カメラと電源部1台をシンク口接続することで、すべての電源部がシンク口発光します。

☞ 詳細は5ページ リヤパネル接続図をご参照ください。

### ■ シンク口ソケット (SYNC.) からの入力

操作パネル面のシンク口ソケット (SYNC.) にホーンジャックタイプのシンク口コードで下記の機材 (別売) を接続します。

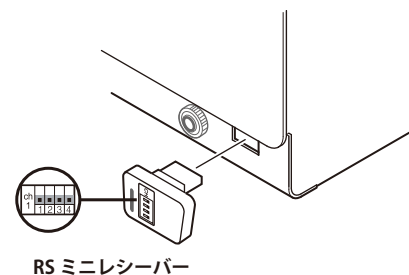
- CR- シンク口コードでカメラのシンク口端子と接続
- 無線シンク口受信器 (RS- 受信器)  
カメラのアクセサリースューに RS- 発信器を取り付けます。
- 赤外線シンク口受信器 (IR-R4a)  
カメラのアクセサリースューに赤外線シンク口発信器 (IR-T4a) を取り付けます。

- 各シンク口装置の使用方法につきましては、製品付属の取扱説明書をご覧ください。

### ■ RS ミニレシーバー接続コネクタからの入力

1. RS ミニレシーバー (別売) を電源部の RS ミニレシーバー接続コネクタに取り付けます。
2. RS- 発信器 (別売) をカメラのアクセサリースューに取り付けます。
3. RS ミニレシーバーと発信器のチャンネルスイッチを同じチャンネルに設定します。

- 無線シンク口装置の使用方法につきましては、製品付属の取扱説明書をご覧ください。



### 【ご注意】

- RS ミニレシーバー接続コネクタの形状寸法は USB コネクタと同様です。  
RS ミニレシーバー以外の機器を絶対に接続しないでください。
- RS- 発信器、RS ミニレシーバーは無線 LAN と同様に 2.4GHz 帯の周波数を使用しています。  
無線 LAN 環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。必ず撮影前にテストしてご使用ください。
- シンク口受信器は1台の電源部のみに接続して下さい。

### 【お願い】

- 本番撮影をされる前にシンク口 (同調) テストをされることをお勧めします。
- カメラのシャッタースピードは 1/60 秒以下に設定してください。  
※カメラ機種によっては同調するシャッタースピードが異なります。
- 後幕シンク口撮影には対応しておりません。

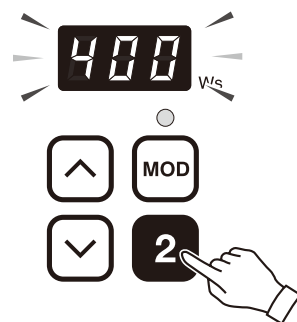
## 9. 不発警報

### ■ 充電完了後の不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、警報音とともに該当出力表示が点滅し、どのヘッドに不発光が生じたかを知らせます。

警報の解除は該当する各灯スイッチ（1～3）を押すか、メインスイッチ（MAIN）をいったん「OFF」にすることで解除します。

- サウンドモードに関係なく警報音は鳴ります。
- ストロボ発光部が接続されていない各灯スイッチは必ず、「OFF」にしてください。「ON」のまま発光動作をおこなうと不発光警報が作動します。



### ■ 充電完了前の不発光警報

充電完了前に発光操作を行ったときは、使用している全ての出力表示が点滅し、同時に警報音で知らせます。

警報の解除は、充電完了後にふたたび発光操作をして正常に発光すれば自動的に解除されます。

また、メインスイッチ（MAIN）をいったん「OFF」にすることで解除します。

## 10. 過熱警報

長時間の連続発光などにより、内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、メインスイッチ（MAIN）のパイロットランプが点滅し、警報音で知らせます。このときは速やかに使用を中止してください。

- サウンドモードに関係なく警報音は鳴ります。

### 【お願い】

メインスイッチ（MAIN）をいったん「OFF」にして、ふたたび「ON」にすると警報音は停止します。

冷却を早めるため、内蔵のクーリングファンで内部温度が下がるまで発光操作を休止してください。

過熱警報が解除になると、メインスイッチのパイロットランプが点滅から点灯に戻りますが、完全に温度が下がったわけではありませんので連続発光はさけてください。



## 11. ヒューズ交換

■ こんなときはヒューズが断線した恐れがあります。下記の手順でヒューズを交換してください。

- メインスイッチ (MAIN) を「ON」にしても電源が入らない。 ▶▶▶ ストロボヒューズの断線
- モデリングランプスイッチ (MOD) を「ON」にしてもモデリングランプが点灯しない。 ▶▶▶ モデリングヒューズの断線

【ご注意】 ヒューズ交換は、メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ず AC プラグをコンセントから抜いて行ってください。

### ■ ヒューズの取り出し方

1. マイナスドライバーをヒューズホルダーのキャップのミゾに合わせて、軽く押し込みながら反時計回りに 90 度回転させます。キャップはセルフリリース（せり上がり）機構になっています。

キャップを回転させるとヒューズホルダーからせり上がります。

軽く押しながら反時計回りに 90 度回転

2. キャップを手前に引き抜き、収納されている断線したヒューズをスペアヒューズに交換します。断線したヒューズと同じ定格のものと交換してください。



● ストロボヒューズ (STR) … 15 A

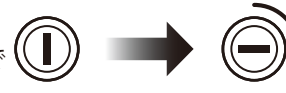
● モデリングヒューズ (MOD) … 4 A

UNLOCK

※ストロボヒューズ 15A (STR 15A) のスペアは電源部本体のスペアヒューズホルダー (SPARE・15A) に収納されています。

### ■ ヒューズの取り付け方

ヒューズホルダーにキャップのミゾが縦向きになるように差し込み、マイナスドライバーで軽く押し込みながら時計回りに 90 度回転させます。



軽く押しながら時計回りに 90 度回転

## 12. 保証とアフターサービス

---

### ■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から3年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにらずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

### ■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

### ■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

### ■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のシンクロコードをセットにしてご依頼ください。

迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。

保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前に AC プラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

### ■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

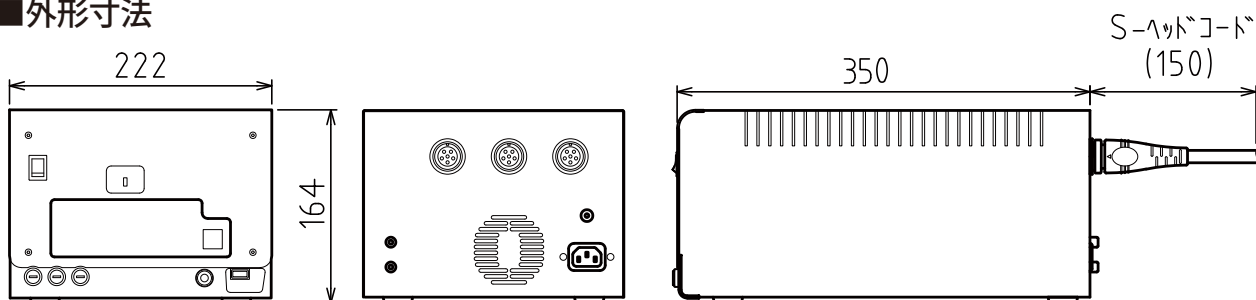
また、修理伝票は次回の修理に必要となるときがありますので大切に保管してください。

## 13. 仕様

品名	S-444D-RS電源部	
型式	S-444D-RS	
定格電圧	AC100V ±10% 50/60HZ	
ブレーカー容量	20 A	
ヒューズ定格 ストロボ	15 A	
モデリングランプ	4 A ※モデリングランプ総合計400W	
最大出力	400Ws×3回路	
充電時間 (50/60Hz)	出力400Ws×3回路 2.6秒 (出力200Ws×3回路 1.5秒)	
出力灯数	3灯 (Sタイプ)	
出力表示	デジタル表示	
各灯スイッチ	ストロボ、モデリングランプをON/OFF	
ストロボ調光方式	3回路セパレート出力 電圧調光	
各灯調光バリエーター	FULL~1/64 (6EV) 1/6EVステップ、長押し1EVステップ	
モデリング調光モード	100%点灯 (CONST) / 出力連動調光 (VARI) / OFF ※VARIは1/16以下は1/16の光量で一定	
シンクロソケット	フロントパネル	ホーンジャックタイプ×1
	リアパネル	ピンジャック×2
シンクロ電圧	DC12V	
フォトセル	なし	
無線シンクロ	RSミニレシーバー接続コネクター×1	
サウンドモード	充電完了音 (READY) / 充電中音 (CHG) / 消音 (OFF)	
不発光警報	該当出力表示点滅とブザー連続音	
過熱警報	ACパイロットランプ点滅とブザー連続音	
クーリングファン	内蔵	
寸法	222 (w) × 164 (h) × 350 (d) mm	
重量	6 kg	



- 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。  
なお、この仕様は2026年1月現在のものです。

### ■外形寸法



検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査

## ●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検		<b>こんな症状はありませんか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スイッチを入れても所定の時間で充電しない</li> <li>●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する</li> <li>●ヒューズがすぐ切れる</li> <li>●ストロボ電源部やヘッドに触るとピリピリと電気を感じる</li> <li>●その他の異常や故障があるとき</li> </ul>		このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、弊社営業所または販売店にご相談ください。

●ストロボは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。



COMET ホームページ  
修理に関するお問い合わせ



COMET ホームページ  
営業所案内



COMET ホームページ

**COMET**<sup>®</sup> コメット株式会社

〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1  
TEL.(03)5916-5785 FAX.(03)5916-5872

URL <https://www.comet-net.co.jp>  
E-mail [mail@comet-net.co.jp](mailto:mail@comet-net.co.jp)